

ジェネシスヘルスケア株式会社  
第5回倫理審査委員会 議事録

日 時： 平成24年11月  
書面にて決議を実施した。

委員 国立遺伝学研究所 教授 斎藤成也先生  
久里浜アルコール症センター 副院長 樋口進先生  
キッコーマン株式会社総合病院 院長 久保田芳郎先生  
東海大学医学部附属東京病院内科 東海大学名誉教授 松崎松平先生  
森・濱田松本法律事務所 弁護士 早稲田祐美子先生

当社 ジェネシスヘルスケア株式会社 代表取締役 佐藤バラン伊里

議事次第：

1. P&G社との肌遺伝子同定に基づく共同研究について

議事の経過の概要

- 1、 2012年11月ジェネシスヘルスケア株式会社 代表取締役 佐藤バラン伊里より各委員に向けて、P&G社と実施する肌老化関連遺伝子型と化粧品 of 長期使用が及ぼす皮膚老化に関する比較調査について概要を説明。
- 2、 研究概要

顔面の黙示的な皮膚の老化状態と遺伝子の関連及びスキンケア習慣の関連を調べるため、以下の肌遺伝子同定に基づく共同研究を実施する。

日本在住の健常な日本人女性被験者 120 名 (28-76 歳、平均 47.1 歳) をコントロール群として、顔面皮膚の外観特徴 (シミ、シワ、キメ、ハリ感、ツヤ感等) を画像解析法により定量し、シワや色素斑等の肌老化メカニズムに影響を及ぼす酵素に関与する遺伝子として MMP1、SOD2、GPX1 の遺伝子多型を計測し、その関連を共分散構造分析法を用いて調べる。

また同様に、同じ年代でガラクトミセス培養液が配合された同一のスキンケア製品を長期的に連用 (平均 13.0 年連続使用) している日本人女性被験者 114 名 (29-76 歳、平均 47.3 歳) を

対象に皮膚測定及びこれら遺伝子多型型を計測しSNPsとの相関関係を統計解析する。

以上の説明の後、被験者の安全性を確保できる事を確認できた事から全会一致で承認された。